

住友グループの関連施設・関連団体

re turn to society

社会への還元。

住友の事業精神に「自利利他 公私一如」がある。
住友の事業は、自分だけの利益を目的とせず、
社会と利益を分かちあい、
社会と住友は一体であるという意味である。
江戸時代、住友は銀の海外流失を防ぐため、
「南蛮吹」の技術を銅の精錬業者に公開し、
近代では大阪府に図書館などを寄附した。
戦後もこの精神はグループ各社に引き継がれ、
市民生活を豊かにし、学術研究に寄与する活動が
地道に続けられている。



せんおくほくこかん

泉屋博古館

〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24
TEL:075-771-6411(代)
開館期間:3月中旬~6月、9月~12月中旬
開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日:会期中の月曜日(祝日開館、翌平日休館)
臨時休館あり

<https://www.sen-oku.or.jp/kyoto/>

住友家が蒐集した美術品を保存展示する美術館として、1960年(昭和35)に財団法人として設立されました。住友家の美術品で最も有名なものは、住友家第15代当主・住友吉左衛門友純(春翠)が蒐集した中国青銅器と鏡鑑です。これは、質量ともに最も充実したコレクションとして世界的にも高く評価されており、当館では、この青銅器と鏡鑑の名品を4つの展示室でテーマ別に展示しています。また、中国・日本の絵画や書跡、工芸作品等も企画展として季節に合わせ公開しています。



せんおくほくこかんぶんかん

泉屋博古館分館

〒106-0032 東京都港区六本木1丁目5番地1号
TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル)
開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日:会期中の月曜日(祝日開館、翌平日休館)、
展示替え期間、年末年始

<https://www.sen-oku.or.jp/tokyo/>

京都の泉屋博古館の分館。2002年(平成14)、東京の六本木1丁目に開館。近代の日本画・洋画、茶道具や能面・能装束、近代の陶磁器などを所蔵しております。分館は、近代の絵画、工芸に名品が多く、岸田劉生が愛娘の麗子を描いた一連の作品の中でも最も大きな「二人麗子図(童女飾髪図)」や、近代の陶磁器においては、初代宮川香山とともに初めて重要文化財に指定された板谷波山「葆光彩磁珍果文花瓶」などの作品をご覧いただけます。年4回程度企画展を開催しております。



重要文化財 板谷波山
《葆光彩磁珍果文花瓶》
大正6年(1917) 泉屋博古館分館蔵

べっしどうざんきねんかん

別子銅山記念館

〒792-0844 愛媛県新居浜市角野新田町3-13
TEL:0897-41-2200
開館時間:9:00~16:30
休館日:月曜日、祝日(日曜日と重なる場合は開館)
10月17日(地方祭)、年末年始
料金:無料

<https://www.sumitomo.gr.jp/history/related/besshidouzan/museum.html>

1973年(昭和48)、別子銅山が283年にわたる歴史に幕を閉じました。この記念館は、その波瀾に満ちた銅山経営の史料を保存展示するために住友グループが建設し、1975年に開館しました。1691年(元禄4)の開坑から閉山まで、一貫してひとつの企業体が経営した、日本はもとより世界でも例のない銅山であったため、普通なら散逸していてもおかしくない数々の貴重な史料を見ることができます。記念館の屋根を覆うのは1万本のサツキ。花が、満開になる5月には、新居浜のサツキの名所としても市民に親しまれています。



ひろせれきしきねんかん

広瀬歴史記念館

〒792-0046 愛媛県新居浜市上原二丁目10番42号
TEL:0897-40-6333
開館時間:9:30~17:30(入館17:00まで)
休館日:月曜日・国民の祝日の翌日(日曜日を除く)、年末年始
料金:一般520円、団体(20名以上)420円、中学生以下無料、障害者等の割引あり

<http://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/hirose/>

幕末・明治の動乱期に、政府による接収や住友の経営難による売却から別子銅山を守り、その開発の近代化を推進した広瀬幸平。彼はまた、わが国の産業育成にも力を注ぎ国家の発展に貢献しました。この記念館は、広瀬幸平の足跡を通して新居浜の生い立ちと日本の近代産業の歩みをたどる施設です。敷地内にある旧広瀬邸は、1890年前後に大阪の大工棟梁八木甚兵衛によって移築・新築されたもので、2003年(平成15)、「別子銅山を支えた実業家の先駆的な近代和風住宅」として、国の重要文化財に指定されました。また庭園は、2018年、「迎賓・祝祭・顕彰の場を兼ね備えた近代日本における地方の庭園文化発展を示す重要な事例」として、国の名勝に指定されました。



こうえきざいだんほうじん すみともざいだん

公益財団法人 住友財団

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目12番16号
住友芝大門ビル2号館3F
TEL:03-5473-0161

<http://www.sumitomo.or.jp/>

住友グループは、別子銅山の開坑300年を記念し、1991年(平成3)に基金を拠出して住友財団を設立しました。本財団は、住友の先人の遺訓に沿って、人類社会の諸問題の解決・改善を目的とする研究及び事業に対し時代の要請に適った助成を行い、豊かな社会の建設に資することを目的としています。基礎科学研究、環境研究、国内の文化財維持・修復事業、海外の文化財維持・修復事業、アジア諸国における日本関連研究、などの分野で毎年およそ4億円規模の助成を行っています。



2014~2015年度助成
ボストン美術館所蔵
英一筆筆「仏涅槃図」

ひぐらしべっていきねんかん

日暮別邸記念館

〒792-0008 愛媛県新居浜市王子町1番11号
TEL:0897-31-5017
開館時間:9:00~16:30
休館日:月曜日・国民の祝日(祝日が日曜日の場合は開館)、
地方祭10月17日、年末年始12月29日~1月3日
入館料:無料

日暮別邸記念館は、新居浜から瀬戸内海の沖合20Kmの四阪島に、新居浜地区の煙害克服を目的として銅製錬所を移転させた翌年の1906年(明治39)に、当時の住友家第15代当主 住友吉左衛門友純すみともきちろ ともんともいとにより住友家の別邸として建設されました。建築後110年余りの歳月を経て老朽化が進み、価値ある建造物を島で保存し続けることが難しくなってきたことから、四阪島を遠望できる新居浜市に2018年に移築し、記念館として一般公開しました。完成した「日暮別邸記念館」では、20世紀初頭のモダンな雰囲気を残した建物とともに、困難を乗り越えて解決した煙害克服の歴史や住友の事業のルーツである銅製錬の歴史などを紹介しております。



すみともしりょうかん

住友史料館

〒606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町1-2
TEL:075-761-7503
閲覧日・時間:火曜日・木曜日10:00~16:00(事前予約制)

〒606-8431 <https://www.shiryokan.jp/>

住友史料館の前身は、1887年(明治20)にさかのぼります。大阪の本邸に専任職員を置き、事業と家の歴史に関する古文書を集め、家史編纂を始めました。戦後も住友グループ各社の共同事業として「住友修史室」に継承され、1987年(昭和62)現在地に移転し、「住友史料館」と改称しました。住友家および、住友グループ各社の事業史に関する歴史資料の収集・整理・保存を専門におこなう私設の機関として、積極的な活動を続けております。当館収蔵の史料は近世約3万点、近代約6万点を数え、重要文献は史料集『住友史料叢書』として刊行し、研究の成果は『住友の歴史』、および紀要『住友史料館報』を通じて、住友各社、大学・図書館・研究機関などへ向けて公表しています。また、収蔵史料は、順次、学術的な調査研究を目的とする方を対象に、公開しております。



すみともかっきえん(いばていごうきねんかん)

住友活機園 (伊庭貞剛記念館)

〒530-0852 滋賀県大津市田辺町10番14号
TEL:077-537-1568
開園時間:10:00~16:00
休園日:日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始
利用資格:住友各社の職員・ご家族及びその同伴者

<http://www.sumitomokakken.com/>

明治時代、人材の育成ならびに環境問題に尽力し、住友グループの基礎を築いた第2代総理事 伊庭貞剛が引退するにあたり別墅べつしよとして1904年(明治37)に建築されたものです。建物は和館と洋館からなり、洋館は住友の建築家 野口孫市によって設計され、和館は数寄屋建築の名工 八木甚兵衛により建築されたものです。2002年(平成14)に「明治後期の大邸宅の姿を完全に伝える稀有な例」として国の重要文化財に指定され、また「一括して景観をなす」と認められた庭園を含みます。この記念館は、高潔な実業家として知られる伊庭貞剛翁を顕彰し、その精神を広範に学んでいただく施設です。



いっばんざいだんほうじん すみともびょういん

一般財団法人 住友病院

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番20号
TEL:06-6443-1261(代)
健康管理センター(人間ドック):06-6447-3013
受付時間 8:30~11:30・12:30~15:00
休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)
救急は24時間対応

<http://www.sumitomo-hp.or.jp/>

1921年(大正10)、大阪市此花区に「大阪住友病院」として、住友グループ各社の従業員だけでなく、広く一般の方々に質の高い診療を提供することを目的として、開設されたのが始まりです。その後、幾多の変遷を経て2000年(平成12年)に現在地に新病院を建設し、21世紀に相応しい総合病院として現在に至っています。このよ
うな90年を超える伝統をもとに、「信頼性の高い診療で社会に貢献」を理念とし、①高水準、良質の医療 ②患者様の Quality of Lifeを重視した診療 ③快適環境 ④豊かな国際性を運営方針として人間ドックから専門医療まで扱う病院として高く評価されています。



ほうこうじのぼんしょう

方広寺の梵鐘

京都市東山区大和大道通七条上ル 茶屋町527-2

京都東山にある方広寺(天台宗)の梵鐘には、大阪冬の陣で豊臣氏が滅亡する原因となった「国家安康」「君臣豊楽」の銘が刻まれています。初代住友友友の「文殊院由来書」などによると、この有名な梵鐘と大仏の銅は、友友の義兄で、1590年(天正18)に京都で銅吹屋を始めた蘇我(泉屋)理右衛門が納めたと伝えています。豊臣秀吉が建立した方広寺は1596年(慶長元年)の大地震で壊れたので、子の秀頼が1612年に再興しました。その本尊の大仏は6丈3尺(約19m)もの高さがあり、1614年には銅1万7,000貫(約63トン)を用いて高さ1丈7寸(約3.2m)の巨大な梵鐘が鑄造されました。この梵鐘の音に耳を傾けると、400年前の京都で「南蛮吹」の技術をもって活躍した蘇我理右衛門の息吹を、今も偲ぶことができます。



おおさかしりつびじゆつかん

大阪市立美術館

〒543-0063 大阪市天王寺区茶白山町1-82
TEL:06-6771-4874
開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日)、
年末年始(12月28日~1月4日)
※年によって変更になる場合があります。
展示替え期間

<https://www.osaka-art-museum.jp>

1921年(大正10)、住友家の第15代当主・住友吉左衛門友純が大阪市に当時の住友家本邸の敷地(庭園ともで約6ヘクタール)を建設用地として寄贈を申し入れました。用地寄贈を受けて早速美術館の建設が始まりましたが、財政不足、世界恐慌、室戸台風などに見舞われ、15年後の1936年(昭和11)に開館。住友は、1944年には、上村松園、小野竹喬、金島桂華など当時の関西邦画壇代表作家の作品20点を寄贈。開館以来80年余り、現在、館藏品は約8,500件に及び、中国と日本の美術品に特色のある美術館として高く評価されています。



くすのきまさしげぞう

楠木正成像

東京都千代田区皇居外苑皇居前広場

1890年(明治23)の別子銅山開坑200年を記念して住友家第13代当主・住友吉左衛門友忠が明治天皇に献納しました。1889年に東京美術学校(現東京藝術大学)へ制作を依頼。高村光雲が主任として原型木彫りの制作にあたり、別子銅山の産銅で鑄られました。しかし、当時の日本にはこれだけの大きな像を鑄造する技術がなく、鑄造の制作主任、岡崎雪聲は、研究のため渡米し「分解鑄造」の方法を悟るなど、苦心の末、制作依頼から11年が過ぎた1900年に完成しました。



おおさかしりつとうようとうびじゆつかん

大阪市立東洋陶磁美術館

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26
TEL:06-6223-0055
開館時間:9:30-17:00(入館は16:30まで)
休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌日)、
年末年始(12月28日~1月4日)、展示替え期間

<http://www.moco.or.jp>

1980年(昭和55)、住友グループが大阪市に旧安宅産業株式会社が収集した「安宅コレクション」を寄贈。「安宅コレクション」は、国宝・重要文化財を含む965件の東洋陶磁を中心とした世界第一級のものです。大阪は、美術館を建設、1982年、世界でも数少ない東洋陶磁の専門美術館が誕生しました。さらに1999年(平成11)に経済学博士で実業家でもある李昌氏から韓国陶磁を中心とする351件の寄贈があったほか、多くの方々からの寄贈品などにより、現在の収蔵点数は、2,500点を超え、まさに「東洋陶磁美術館」の名にふさわしい国際的にも著名な施設となりました。



おおさかふりつなかのしまとしよかん

大阪府立中之島図書館

〒530-0005 大阪市北区中之島1-2-10
TEL:06-6203-0474
開館時間:月曜日~金曜日9:00~20:00 土曜日9:00~17:00
休館日:日曜日、3月、6月、10月の第二木曜日、
12月29日から翌年の1月4日まで

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/nakato/>

住友家第15代当主・住友吉左衛門友純が大阪府に寄付し、1904年(明治37)竣工、開館。外遊先で、富豪の公共有用のものへの寄付に感銘を受けていた吉左衛門は、大阪に図書館を待望する気運が高まるなか、建物と図書購入基金を寄付しました。1922年(大正11)には、両翼部分を増築寄付。設計は、野口孫市、日高肝。建物は石造り3層で、銅葺きのドームが高くそびえる名建築です。竣工以来100年を経て、今なお現役で、重厚な雰囲気漂わせる玄関ホールに立てば、「大阪に文化を育てたい」と願った住友の先人の気骨が伝わってきます。1974年(昭和49)に国の重要文化財に指定されました。



にいしましりつべっしどうざんきねんとしよかん

新居浜市立別子銅山記念図書館

〒792-0004 愛媛県新居浜市北新町10番1号
TEL:0897-32-1911
開館時間:火曜日~土曜日9:00~19:00
日曜日・祝日9:00~17:00
休館日:月曜日、館内整理日(毎月月末)、
年末年始、特別整理期間

<http://lib.city.niihama.lg.jp/archives/libraries/niihama/>

1990年(平成2)の別子銅山開坑300年を記念して、住友グループが1992年に新居浜市に寄贈しました。従来この場所は、住友の接待館「泉寿亭」(1937年、昭和12建設)があったところ。図書館は、既存の和風庭園を利用し、回廊をはさんでふたつの銅板ドーム屋根をもった建物で、閲覧室と多目的ホールがあります。地域に貢献する、優れた公共建築として1998年の「公共建築100選」にも選ばれています。



© Kouji Okamoto